

R5全国学力・学習状況調査の結果について

子どもたちの学力の状況を把握し、今後の指導に生かすため、小学校6年生と中学校3年生を対象に毎年「全国学力・学習状況調査」が実施されています。今年は、国語、算数、と生活等に関する質問紙の調査が行われました。

広谷小学校の結果と今後の対策についてお知らせします。



1 国語

(1) 正答率が高かった問題とその要因

- ・どの学年も漢字の書き取りを宿題として出している。
- ・継続的に漢字指導を行っている。
- ・これまでに体験していることと、問題文の「結果」「原因」の言葉がリンクした。

(2) 課題のある問題とその原因、対策

- ・資料を分析する経験が乏しく分析できない。グラフや表、地図など資料から読み取る学習活動を取り入れていきたい。
- ・ページをめくりながら解くパターンの問題の経験が不足している。今後は、一定量の文章を読む活動を経験させたい。



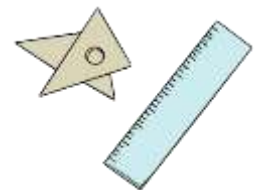
(3) 「思考・判断・表現力」以外で全国平均を上回った原因

- ・知識・技能については日頃の授業の中で、大切な部分をしっかり押さえるような学習を行っていたり、くり返し復習や宿題をしたりするなどし、定着している。
- ・引用したり抜粋したりすることは得意であるが、自分の考えを豊かに表現することは普段の授業でも苦手意識を感じる。

2 算数・数学

(1) 正答率が高かった問題とその要因

- ・計算のように単純に答えを出す問題は継続的に行っている。



(2) 課題のある問題とその原因、対策

- ・図形に苦手意識を持っている子が多い。授業中で更に操作活動を取り入れるなど体験を通して理解させることが大切である。
- ・立式はできてもその意味を説明することに課題がある。図や関係図などを用いて、自分で説明する力を育みたい。
- ・結合法則、分配法則など、計算のきまりについて、十分に理解していない。引き続き、具体的な数値と照らし合わせたり、決まりを使う良さを感じさせたりするなど、理解が深まる工夫を行いたい。

3 質問紙

(1) よい結果だった事項と背景

- ・学校に行くのは楽しいですか。
- ・今住んでいる地域の行事に参加していますか。
- 子どもたちが主体的に参加する行事が多くある。
- 伝統的な地区の行事がある。



(2) 課題となった問題と今後の取組

- ・将来の夢や目標を持っていますか。
- ・将来、積極的に英語を使うような生活をしたり、職業に就いたりしたい。
- 多くの職業を知り、知識を広げる。
- 身近に英語を積極的に活用した職業が少ないので、市の関係部署と連携を図り、キャリア教育の充実を図る。

正答率については、国語が全国平均をやや下回り、算数は全国平均と同程度でした。学年によっても傾向が変化することがありますし、幅広い内容の中からその一部について調査が行われているので、正答率のみで判断することは避けなければなりません、一定の水準に達していると考えています。

今回の結果を踏まえ、学習指導の充実に一層取り組んでいきたいと思えます。